

激励のメッセージ

原水爆禁止二〇一九年世界大会の開催にあたりまして、皆様のためまぬご努力に対し、心より敬意を表しますと共に感謝申し上げます。

戦争や核兵器の使用という手段をもって、平和な社会の実現はありえない、と多くの人々が考えているにもかかわらず、現在、世界ではさまざまな核兵器に関する動きがあり、予断を許さない状況が続いております。

このような時代だからこそ、被爆国であるわが国といたしましては、広島・長崎での悲劇を決して忘れることなく、二度と悲しみが繰り返されぬよう世界中に発信していかなくてはなりません。

広島原爆祈念碑には、「安らかに眠って下さい。過ちは繰返しませぬから」と書かれております。

三島市におきましても、昭和三十四年十二月二十一日に平和都市（核非武装）宣言を決議して以来、平和の尊さを深くかみしめ、悲惨な戦争が再び起こらないことを心から願い平和都市実現のための運動を行っております。戦争を語り継ぎ、戦争による人々の苦しみ悲しみを風化させないために、毎年八月を平和都市推進月間と位置付け、広島市平和祈念式への中学生派遣をはじめ、「原爆と人間」パネル展の開催など様々な事業を行っており、今年度もこれらの平和事業を継続して展開すべく準備を進めているところであります。

皆様のご努力の成果が、核兵器の廃絶、また、日本及び世界の恒久平和の実現につながりますことを心よりお祈り申し上げます。

令和元年八月

三島市長 豊岡 武士

